

創造 おおいた

Oita Prefectural Organization
for Industry Creation | No. 299
2026.3

中小企業の元気創造！
「挑戦」「創造」「継続・伴走」
公益財団法人 大分県産業創造機構

#トップインタビュー

株式会社みょうばん湯の里

代表取締役

飯倉 里美氏



#企業紹介

unid株式会社

代表取締役

櫻井 暢子氏



#切り拓け!脱炭素

大分県商工観光労働部

産業GX推進室 室長

阿部 浩孝氏



02 明日のおおいた

株式会社トキハ
代表取締役社長
酒井 祐一 氏

03 Top Interview

株式会社みょうばん湯の里
代表取締役 飯倉 里美 氏

06 企業紹介

unid株式会社
代表取締役 櫻井 暢子 氏

08 切り拓け！脱炭素

大分県商工観光労働部
産業GX推進室 室長 阿部 浩孝 氏

10 おおいたスタートアップセンター

「おおいた起業家事情」
高瀬水産有限会社

11 大分県よろず支援拠点「支援事例」

・カラダメンテ
・株式会社別府交通センター

12 TOPICS 1 予告1 一般研修計画のご案内

予告2 情報誌「創造おおいた」が
生まれ変わります！

13 TOPICS 2 食品展示会・商談会出展報告

14 TOPICS 3 プラザ大分会員募集案内

15 広告

・株式会社シャーロック
・トヨタカローラ大分株式会社
・株式会社ネオマルス

16 中小企業活性化協議会



公益財団法人 大分県産業創造機構
〒870-0037
大分市東春日町 17 番 20 号
ソフトパークセンタービル
TEL.097-533-0220
FAX.097-538-8407
✉ ossk@columbus.or.jp
https://www.columbus.or.jp

寄稿「明日のおおいた」

地域とともに歩む
トキハの現在地とこれから

株式会社トキハ

代表取締役社長 さかい ゆういち
酒井 祐一 氏



大分県の商業は、城下町を基点とした市や商店街に始まり、高度経済成長期には人口増加とともに百貨店や中心市街地が地域の消費を支える構造へと発展してきました。商業は単なる「モノを売る場」を超え、人が集い、文化や情報が交差する“地域のハブ”としての役割を果たしてきた歴史があります。

株式会社トキハも、こうした大分県の商業の歩みとともに歴史を重ねてきました。創業以来、私たちが大切にしてきたのは、「ふるさとのトキハ」であることです。当社の企業理念である「お客様の豊かな暮らしとふるさとの文化の向上に貢献するため、時代に即応した品質の高い商品・サービス・ライフスタイルを提案する」は、変わらない思いです。

一方、近年は商業を取り巻く環境が大きく変化しています。人口減少や高齢化、ライフスタイルの多様化、インターネットを通じた購買の拡大などにより、百貨店に求められる役割も変わりつつあります。こうした時代の変化に対し、トキハは「何を変え、何を守るのか」を自らに問い続けてきました。

社会経済の変化により、これまで以上に選択と集中が求められています。何でもそろえること、規模を広げることが価値だった時代は終わりつつあります。そうした中でトキハが目指しているのは、無理に規模を追うのではなく、「質を高めること」によって選ばれ続ける百貨店です。

ただ売ればいいのではなく、お客様お一人おひとりのニーズに真摯に応え、商品一つひとつの背景や作り手の思いを大切に、本当に良いものを丁寧に紹介し提案できること。とりわけ大分の食や工芸、地域に根差した企業の商品には、長い時間をかけて培われた技術や誠実さがあります。それを正しく伝えることこそ「ふるさとのトキハ」の役割だと考えています。

また、百貨店は単に商品を買う場所ではなく、観光や食、文化と商業を結び付け、人と人が出会い、価値が生まれる「場」であることも重要です。新たな出会い、感動、新発見、そうした一つひとつの積み重ねが、「また来たい」「ここなら間違いなし」という信頼につながります。

これからのトキハは、規模の大きさを誇る店ではなく、地域の良さをを選び、磨き、つなぐ存在でありたいと考えています。質の高い地域のハブを目指して、商店街や地域大型店の皆さまと協働、行政や支援機関の皆さまと連携しながら、背伸びをせず、しかし誠実に、時代に即応した暮らしの質を高めていく。その歩みを着実に続けていきます。

地域とともに歩んできた歴史を礎に、これからも「ふるさとのトキハ」と感じてもらえる存在であり続けたいと思います。

PROFILE 生年月日 1961年2月1日

職 歴 2014年5月 執行役員 営業政策部 部長
2015年3月 執行役員 別府店 店長
2016年9月 執行役員 人事部 部長
2020年5月 取締役 総務人事部 部長
2022年5月 常務取締役 総務統括 兼 人事部長
2023年3月 常務取締役 総務統括 兼 総合企画部長
2024年5月 代表取締役社長
現在に至る

Top Interview

昨年、創業300周年を迎えたみょうばん湯の里。豊富な温泉資源と湯けむりの恩恵を受け、薬用のミョウバン製造から入浴剤の湯の花製造へと変遷を遂げてきた、別府随一の長寿企業である。江戸時代からの製法を守りつつ、湯の花コスメの開発など時代に合わせた取り組みで注目される16代当主・飯倉里美氏に、家業への思いや展望などを語っていただいた。



別府・明礬温泉で創業 300 年 湯の花の力を次世代へ

ミョウバンから入浴剤「湯の花」へ

——300年の歴史を大まかにお話しいただけますか。

初代・脇屋儀助が1725年（享保10年）に豊後ミョウバンの製造地として創業し、私が16代目となります。当時ミョウバンは止血剤や染め物など多方面に使われ、明礬という産業が地名になっている全国でも珍しい場所です。

8代将軍・徳川吉宗の時代に享保の改革で、中国に頼っていたミョウバンの国産化が進み、豊後ミョウバンは幕府の専売品になります。現在みょうばん湯の里のある敷地だけが天領となり、全国に明礬会所という専売所を設けて取引することが認められて、製造・販売権を独占しました。

明治時代になるとヨーロッパから工業品のミョウバンが輸入され、豊後ミョウバンは衰退しましたが、ミョウバン製造の途中工程でできた製品を「湯の花」と名付け、1884年（明治17年）に入浴剤として売り出しました。

株式会社みょうばん湯の里

代表取締役 いいくら さとみ
飯倉 里美 氏

別府市出身。(株)ビクター音楽産業東京本社、おおいたインフォメーションハウス(株)勤務を経て1990年(有)プラス起業。1995年(株)みょうばん湯の里・(株)みょうばん湯の花製造入社。1997年(株)ともゑや起業。2006年(有)プラスを退任、(株)みょうばん湯の里代表取締役就任。

(株)みょうばん湯の花製造・(株)ともゑや・(株)脇屋商会 代表取締役。明礬温泉湯の花製造技術保存会 会長、大分経済同友会 幹事、同観光戦略委員会アドバイザーほか役職多数。



かつては 300 棟近い湯の花小屋があった明礬温泉

—薬から入浴剤へ転換されたのですね。

商品は変わりましたが、江戸時代からの製造方法は変わらずに300年続いています。このような歴史の中、製造業だけ担ってきた所を観光地化したのが、私の父で14代目の脇屋長可です。1987年（昭和62年）に湯の花の小売事業だけでなく、「明礬湯の里」をオープンさせ、露天風呂や土産品店、レストランなどを整備しました。別府市長を3期務めた父だからこそ、別府には観光施設が重要だと認識していたんですね。

その父が65歳で急逝して母が代表になり、私は広告制作会社を起業していたのでレギュラーの仕事を抱えてメ切に終われながら、家業と掛け持ち。昼間は子供を保育園に預けて両方の会社を行き来する毎日でした。今はそんなことが自慢になる時代じゃないですが、すごく働きましたね（笑）。20年前に広告制作会社は後輩に譲って湯の里の代表を受け継ぎました。

湯の花コスメがインバウンド客にも大人気

—承継して新たに取組んだのが湯の花コスメですね。

生活が洋式になってシャワーだけの人も増えたので、入浴剤以外の柱を作ろうと化粧品の開発を始めました。湯の花を液状化する国際特許を取っています。最初に作ったのが湯の花せっけん、全身ジェル、ミストスプレーで、これが今もベスト3。予想以上にインバウンド客が増え、この地特有の化粧品は大人気です。広告の仕事を経験したことと、毎日お客様の動向を見ているので、需要がわかるのが強みだと思います。

—販路は広がっているのでしょうか。

販路は広げないようにしています。商品だけが出回るよりも、別府にお越しいただくことが観光浮揚観光浮揚になるので、県外や海外からもご要望を受けますがお断りしています。



大正時代の終わり。湯の花の説明をする12代当主（前列左）

—人を育てるのにどんなことを大切にされていますか。

目標を設定することですね。毎月全ての部署に売上目標を出させて、パートを含むスタッフ全員に、達成するためには何を仕入れ、どういうディスプレイをして、どこを整理するか考えようと言っています。目標があると、接客も含めて考え、達成してきますね。お客様からの一番のほめ言葉は「ここに来て良かった」と言われること。お客様に喜んでいただいて、私たちはお給料をいただいているということを認識してもらおう言っています。

以前から別府は観光客や留学生、障がい者も受け入れてきた多様性のある街です。みょうばん湯の里にもさまざまな方が来てくださるので、スタッフはどんな方にも声掛けやお手伝いができるよう、心がけています。留学生の学生アルバイトも国際色豊かですし、多様性の時代にどう順応していくか、今だからこそ考えていきたいです。

江戸時代から続く湯の花製造技術を、残すために

—現在、湯の花の製造はどんな状況ですか。

戦前300棟近くあった湯の花小屋が、職人の減少で維持できなくなり、湯の花業者は現在4社のみ。当社は湯の花小屋15棟、職人は6人で40代、50代のチームです。

全国の他の温泉地にある湯の花は、多くが温泉の沈殿物や硫黄の塊を採取し粉末にしたものですが、明礬温泉の湯の花は、小屋の中で湯けむりを利用して成長させる唯一無二のもの。製造技術が国の重要無形民俗文化財に指定されています。昔ながらの技術や文化を今の時代に残し、次世代まで残そうとしているのが民俗文化財。その意義を皆さんに重要視していただきたいなと思います。

—製造を続けるのにどのようなご苦労がありますか。

湯の花小屋に必要な竹、ワラ、カヤなど昔ながらの材料の調達に一番苦労しています。ワラは掛け干したものが



床の青粘土と温泉噴気の化学反応で結晶化した湯の花を、職人が手作業で採取。成長スピードは1日約1ミリ

必要ですが、高齢化で掛け干しする農家が少ない。竹やカヤも、あるけれど切り出す人がいないとか。メイドイン別府は無理ですが、極力県内で調達しています。

——次世代につなぐ活動にも力を入れておられますね。

文化財に指定されたのを機に保存会を発足し、「湯の花教室」を15年ぐらい続けています。子供たちに向けて始めたのですが、今は大人の方や留学生、親子も多いですね。

大分大学理工学部の協力を得て、中高生と湯の花を採取して成分分析を行う「湯の花化学教室」も開催しています。大分大学の皆さんとは湯の花の次の利用価値についての研究も続けています。文化遺産論、観光、地球研化学、地質学などさまざまな大学の学部から視察に来ることも多く、私が大学に行って講義をすることもあります。この土地にはいろんな側面があるのが面白いですね。

——新たに手掛けている事業はありますか。

別府発のお土産作りを始めました。別府をフィーチャーして、明礬温泉や鉄輪温泉コーヒーなど別府八湯のコーヒーを開発し、タオルも作りました。まだ半年ぐらいですがよく売れています。飽きられないためには商品開発が重要だと思っています。異業種の人のつながりからヒントをもらうことも多いので、出会いの時間をこれからも大切に

商品開発を続けていきたいと思っています。

——今後の展望をお聞かせください。

今はもう十年一昔でなく三年一昔ぐらいではと思うほどですが、時代の変革の波に乗る部分と、維持する部分を明確にしていきたい。業種をどんどん変えて百年経営を続けておられる会社も多いですが、日本のものづくりを残していくため、本業を重視し力を注ぎたいと思っています。

企業データ

企業名	株式会社みょうばん湯の里
代表者	代表取締役 飯倉 里美
所在地	別府市明礬温泉6組 TEL 0977-66-8166
創業	1725年(享保10年)
設立	1977年(昭和52年)
資本金	1,000万円
従業員数	24名(パート含む)
事業内容	薬用湯の花の製造・販売、湯の花コスメ・雑貨企画・販売、露天風呂・貸切湯、温泉蒸し、レストラン

<https://yuno-hana.jp>



温泉成分を凝縮した入浴剤「薬用 湯の花」は、医薬部外品



左から、「薬用 湯の花」を配合した湯の花全身ジェル、湯の花ミストスプレー、湯の花せっけん



湯の花小屋がある風景は国の重要文化的景観の指定を受けている



明礬大橋や鶴見岳を眺められる大露天岩風呂の硫黄泉

企業紹介

共感・共鳴を呼ぶ ブランディングで、 企業の力を引き出す

ユーンデ
unid 株式会社

さくらい ようこ
代表取締役 櫻井 暢子 氏



櫻井暢子代表とunid スタッフ。右から順に櫻井代表、松本ゆかり氏、方志絵利加氏

新しい世代が社会の軸となり、価値観の多様化が進むいま、企業には従来とは異なる伝え方が求められている。機能や価格だけでは選ばれにくい時代、表層的なデザインではなく、時代に沿ったブランディングによる発信は、企業にとって欠かせない経営要素となっている。ブランディング事業を軸に、企業の本質的な課題解決に取り組んできたデザイン会社、unid 株式会社を紹介する。

潜在していた表現力が起業を経て開花

2025年秋、大分・宮崎にまたがる日豊海岸5市による連携イベント『秋の大収穫祭』が佐伯市で開催された。農林水産資源を一堂に集めた“食”の体験をはじめ、郷土芸能、スポーツなども含めた晩秋の県南地区を彩るイベントであったが、なかでも異彩を放ったのが現代美術や音楽会などのプログラムが並んだ『ART REXPERIENCE』だ。このイベント全体の事業コンセプトからメインビジュアル、広報媒体デザインまでを手がけたのが、今回紹介するunid株式会社の櫻井暢子代表であり、自らも『垂乳根』と題したインスタレーション（空間芸術）を展示している。

同社はブランディングを専門とするデザイン会社。愛知県で生まれ、大分市で育った櫻井代表は、女子バレーボールの強豪校・国東高校でチームの主力選手だったといい、「実は体育会系なんですよ（笑）」と意外な経歴を振り返る。卒業後は名古屋の服飾専門学校で学び、岐阜県のファッションアイテムを扱う総合セレクトショップのハウス・エージェンシーに就職。折り込みチラシなど広告物の制作部門に配属されるが、当時は商品撮影の補助や校正、進行管理などを担当し、クリエイティブワークそのものには携わっていなかったという。

27歳で帰県し、職業訓練校で未熟だったデザインツールの操作やWeb知識を基礎から学びなおす。その後の進路をどうするか迷っていたところ、尊敬するデザイン会社の代表から起業を勧められ、2012年に『UNIDRUSU（ユーンデ

ルールズ）』という屋号で個人創業するに至った。異業種交流会への参加等で知り合ったクライアントから名刺やロゴ制作など比較的小さなデザインワークの受注から始まったが、その丁寧な仕事ぶりや完成度の高さが評価され、クチコミで次第に存在感を高めていく。「もともと絵を描いたり、詩を書いたりするのは好きだった」と話す櫻井代表だが、内に秘めていた才能が少しずつ輪郭を帯びてきた時期である。

ふたりのパートナーとの出会いで制作基盤を確立

順調に受注が増えるなか、かねてから関心を寄せていた犬猫の殺処分をはじめとする問題に取り組む活動（以下「犬猫活動」）にも着手した。2014年には、先進地・ドイツの保護施設『ティアハイム』を視察訪問。現地の現代美術や価値観にも感化され、ベルリンと日本の2拠点生活を考えるようになる。

2016年、犬猫活動を通じて知り合った知人の紹介で方志絵利加氏を新卒社員として迎え、このタイミングで法人化。現在のunid株式会社に社名を変更した。翌2017年にはスクリーン印刷会社に在籍していた松本ゆかり氏が入社し、同社は新たなフェーズに入る。現在に続く3人体制が築かれたことでクリエイティブ作品の完成度が高まり、クライアント数の増加と業績向上に繋がっていく。

一方で櫻井代表は、クライアントと向き合う商業デザインの現場で培った経験を背景にしながら、より自由度の高い創作活動への思いが募る。佐賀県有田の窯元で開催

されたアーティスト・イン・レジデンス（滞在制作）への参加、大分とドイツでの個展開催、アートイベントの総合演出と、芸術活動の領域を拡げていった。

自身の妊娠・出産を機に、商業デザインの実務権限を社員2人に完全委譲。芸術活動にエネルギーを注げる環境を整えることで、組織としての自律性を高める体制を確立するに至った。

「現在は現場のリーダーを松本さんが担い、新卒採用だった方志さんも目覚ましい成長を遂げました。ふたりとも、まるで神様からいただいたプレゼントのように大切な存在です」(櫻井)

ブランディングに取り組むことが 企業力のステージを高める

「想いを翻訳し、あるのに表現できていないだけでないことになっている美しいものを 世の中に描き出していく」

これは同社がホームページに掲げているミッション（使命）である。筆者なりに訳すと、「クライアントの想いを言語化し、それをイメージに変換し、社会へ伝えていく役割を担う」といったところだろうか。そのうえで「すべてがそれらしくある世界。みんな、美しい。」と、高邁なビジョンを打ち出している。

同社にブランディングを発注すると、かなりの時間をかけてクライアントとのヒアリングを行い、事業に対する想いを引き出していく。三人の穏やかな性格があつてのことなのか、相手を構えさせない距離感で対話を重ねることで気負いのない言葉を拾い上げる。その結果、クライアント自身も気づいていなかった本質的な言葉まで導き出していくと推察する。まさに同社の真骨頂である。

unid株式会社では、2025年より「社内デザイナー育成講座」を開講している。

製造業では、発注元の依頼通りに製造を手がける「OEM」の枠を超え、ブランド設計や企画段階から参画する「ODM

(Original Design Manufacturing)」という発注形態がある。本講座は後者に通ずるものであり、デザインの現場で悩む担当者と、自社の考えを伝えられるデザイン人材を育てたい経営者、双方の思いに応えられるオーダーメイド講座だと言える。

「あるクライアントから『社内デザイナーを育てたい』という声を聞いて着手した事業です。開講まもなく当社案内をご覧になった経営者が、独学でデザインを学びながらも限界を感じていた担当者に紹介してくださり、すぐにお申し込みをいただきました」

制作スキルの習得にとどまらず、なぜこの表現なのか、会社の意向をどう組み込むか、手探りを続ける現場にとって願ってもない講座になりそうだ。

こう聞くと「内製化されるとデザイン会社を脅かす存在になるのでは」と考えるかもしれない。しかし実際の現場では、プロに発注する領域は別に決められており、むしろ担当者のブランディング意識が高まることで、デザイナー側も質の高いクリエイティブワークを効率的に取り組むことが可能になってくる。

クリエイティブの存在感が高まっている今、同社の取り組みは今後ますます重要な意味を持つてくるであろう。

企業データ

企業名	unid株式会社
代表者	代表取締役 櫻井 暢子
所在地	大分市大字生石 231 番地の 1 TEL 097-574-6324
創立	2012年1月23日
設立	2016年1月22日
資本金	33万円
従業員数	2名
事業内容	ブランディング支援全般、グラフィックデザイン
	https://unidrusu.com/



- ① 少人数制でしっかりまなべる「社内デザイナー育成講座」
- ② 同社デザインによる後藤製菓（臼杵市）のパッケージ
- ③ ヒアリングを重ね、企業の想いを反映させたロゴデザインの一部
- ④ 「ART REXPERIENCE」で展示されたインスタレーション「垂乳根」



③

④

「グリーン・コンビナートおおいた」 推進構想の実現を目指して

大分県商工観光労働部

産業GX推進室 室長 あべ ひろたか 阿部 浩孝 氏

令和6年1月、大分コンビナート企業協議会会員企業11社、大分県、大分市、大分大学は、大分コンビナートが2030年、2050年を見据えて向かうべき方向性を「グリーン・コンビナートおおいた」推進構想として取りまとめた。大分コンビナートの持続的成長と、世界的な要請であるカーボンニュートラルの両立を目指し、構想実現に向けた取組を進めている。



「グリーン・コンビナートおおいた」推進構想の取りまとめ

大分コンビナートは、製油所と石油化学の両方の機能を有する九州唯一の石油化学コンビナートや、製鉄、非鉄金属など、国内はもとより世界でも高い競争力を持つ多種多様な企業がバランスよく立地しており、それを基盤に地場企業が共に発展する産業集積が広がっている。また、東西25kmに及び、それぞれ独立した6箇所の泊地を抱え、30mを超える水深により、世界最大級の大型船が満載で着岸可能な大分港や、アジアに最も近いコンビナートという地理的条件を活かし、県内の約半分を占める製造品出荷額と多くの雇用を支えている。

平成24年には、コンビナート企業間の高度な連携による競争力強化を進めるため、大分コンビナート企業と大分県、大分市からなる「大分コンビナート企業協議会」を設立し、ユーティリティの相互融通、物流、規制緩和、人材育成、スマート保安・IoT推進など、様々なテーマに取り組んでいる。

また、令和6年には、大分コンビナート企業協議会会員企業11社と大分県、大分市、大分大学により、大分コンビナートの持続的成長と、世界的な要請であるカーボンニュートラルの両立を目指すため、大分コンビナートが2030年、2050年を見据えて向かうべき方向性として

「グリーン・コンビナートおおいた」推進構想を取りまとめた。

脱炭素社会に向けた大分コンビナート企業の取組

大分コンビナートの各企業では、脱炭素社会に向けた様々な取組が進んでいる。

日本製鉄では、自社のCO₂をはじめとした温室効果ガスの削減効果を特定の鋼材に反映したものをGXスチール（グリーンスチール）として供給しており、当該鋼材を用いた製品がGX製品として販売されている。大分県においても、昨年12月、GXスチールを使用したロッカーを、都道府県として全国で初めて導入した。

その他にも、ENEOSでは、国東市や佐伯市において、海藻類によりCO₂を吸着・固定化するブルーカーボン創出の取組を展開しており、JX金属製錬佐賀製錬所では、銅精鉱処理の余剰熱を活用してリサイクル原料を溶解する「グリーンハイブリッド製錬」を推進し、リサイクル原料比率を高める取組を進めている。また、三井E&S大分工場では、水素で駆動するガントリークレーンを製造し、ロサンゼルス港や横浜港、東京港、神戸港などの各地で実装または実証が進んでいる。

さらに、大分コンビナート企業協議会では、県営林を有



する大分県、大分県森林組合連合会との間で昨年度、森林J-クレジットに関する連携協定を締結。県内で生み出す森林J-クレジットを、コンビナート企業が率先して購入し、売却益を適切な森林管理に利用するといった、森林J-クレジットと売却益の地域循環を実現する取組も進めている。

進んできた企業間連携の取組

脱炭素化に向けて、排出したCO₂を大気中に放出せず分離・回収し、パイプラインや船舶輸送により、地中深くに貯留するCCS (Carbon dioxide Capture and Storage) の取組も進んでいる。現在、CO₂貯留開始に向けた設計作業等について、JOGMEC (独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構) により候補として選定された国内9案件のうち、3案件が大分コンビナートの案件であり、回収されたCO₂は船舶で輸送することとなっている。当該船舶輸送に関しては、各案件に対する横断的な支援の追加を国が検討している。

CO₂を分離・回収する新しい技術の開発も進められている。PCP (多孔性配位高分子。別名：金属有機構造体 (MOF)) については、昨年、京都大学の北川進特別教授がノーベル化学賞を受賞したことで一般的にも知られるようになったが、当該PCP (MOF) を分離剤として使用するCO₂分離・回収技術について、大分コンビナート企業であるクラサケミカル、日本製鉄、大分大学^{※1}を始めとした6つの国立大学が連携^{※2}し、研究開発を進めている。

その他にも、大分コンビナートでは、津久見地区においてメタネーションの実現を目指す「津久見PtG^{※3}研究会」や、県外コンビナートとの連携のための意見交換会等も進めている。

※1 2025/3月まで

※2 2025/4月から3つの国立大学

※3 PtG：Power-to-Gas (再生可能エネルギーの余剰電力で水素やメタン等のガスを製造すること)

「グリーン・コンビナートおおいた」推進構想の実現に向けて

令和6年4月から令和7年9月までの1年半、NEDO (国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構) の事業として、大分コンビナートにおけるカーボンリサイクルの実現可能性調査が行われ、多種多様な企業が立地する大分コンビナートは、異なる業種間での相互融通な

ど、カーボンリサイクルを実装するうえでの潜在力を有していることや、今後、カーボンリサイクル技術で飛躍するための課題等について報告された。

また、来年度から、GX-ETS、いわゆる排出量取引制度が本格的に始まる。直近3年間の Scope 1 (CO₂直接排出量) の平均が、年10万トン以上の事業者が対象で、国内では300~400社程度、県内では大企業や基礎素材型産業を中心に該当すると見込まれており、脱炭素化に向けた動きが、今後ますます進んでいくものと思われる。

そのような中、「グリーン・コンビナートおおいた」推進構想の実現のためには、足元の取組から2050年に向けた中長期的な取組まで、段階的かつ戦略的に進めていく必要がある。

まずは足元の取組として、「徹底した省エネと燃料転換」により、運用コストを下げつつ、CO₂の排出量そのものを抑制していく。省エネや燃料転換については、これまでも各企業において努力を積み重ねてきたところだが、さらなる徹底が求められる。

そのうえで排出されたCO₂については、「CCS」により大気中に放出せず回収・貯留していく。回収した高濃度・高純度のCO₂は、CCU (Carbon Capture and Utilization) として、ドライアイス製造や農業などにも利用できる。

さらに中長期的には、「水素」を製造または受入し、回収したCO₂と反応させることで、メタン (e-メタン) を製造するメタネーションや化学品合成といったカーボンリサイクルも可能となる。やっかいもののCO₂が資源として活用されるようになる。

このような取組を、将来に向けて一步一步着実に進めていくため、「グリーン・コンビナートおおいた」推進会議の下に、「CCUS^{※4}推進委員会」を設置し、来年度から本格的に活動を始める。

※4 CCUS：Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage (二酸化炭素の回収・利用・貯留)

企業データ

企業名 大分県商工観光労働部
所在地 大分市大手町3-1-1
TEL 097-506-3213

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/14.html>



④



⑤

- ①大分コンビナートの航空写真
提供：ENEOS
- ②水素で駆動するガントリークレーン (三井E&S 大分工場)
- ③森林J-クレジットに関する連携協定締結式
- ④CO₂分離剤PCP (多孔性配位高分子)
提供：クラサケミカル
- ⑤第5回「グリーン・コンビナートおおいた」推進会議の様子

おおいた
スタートアップセンター



おおいた起業家事情

平成 27 年に設置された「おおいたスタートアップセンター」。多くの方が、創業や新事業に取り組んでいます。このコーナーは、おおいたスタートアップセンターが目にする起業家や、話題に迫ります。



命を守り、地域産業の足元を固める挑戦

高瀬水産株式会社

取締役 高瀬 ^{はると}温大 氏

2026年1月6日、大分県佐伯市蒲江の美しいリアス式海岸沿いに車を走らせて訪れたのは、創業50年を迎える「高瀬水産株式会社」。出迎えてくれたのは、昨年5月に福岡での銀行員生活を経て家業に戻ったばかりの3代目後継者、高瀬温大さんです。

案内された木造の養殖場には、巨大な水槽が整然と並んでいました。中をのぞくと、出荷を控えたトラフグや、大分の新たなブランド魚として注目される「さいき桜サーモン」が力強く泳いでいます。しかし、高瀬さんの表情は真剣そのものでした。「養殖業者は、夜も眠れない不安と戦っているんです」。

彼が直面したのは、近年の海水温上昇による「酸欠」のリスクです。手塩にかけて育てた魚が、酸素不足で一晩にして全滅する——そんな悪夢のような「大量斃死」が、現実になり得るといいます。「1匹高く売るブランディングよりも、まずは1匹も殺さないインフラ整備が先決だ」。元銀行員らしく、経営の持続可能性をシビアに見つめる高瀬さんの言葉には、強烈な説得力がありました。

そこで彼が新規事業として掲げたのが、「次世代型溶存酸素自動制御装置」の開発です。職人の勘に頼っていた酸素管理を、センサーと自動バルブで制御し、魚の命を守り抜くシステム。これは単なる効率化ではなく、地域産業の信用を守るための挑戦でした。

そして迎えた1月13日。「第6回アトツギ甲子園」九州・沖縄ブロック大会。アクロス福岡のステージに立った高瀬さんは、「命を守り、家業、産業を繋ぐ」と題し、4分間の熱いピッチを行いました。「魚が死ぬことは、経営における巨大な損失であり、金融機関からの信用失墜にもつながる」。銀行員時代の経験と、現場で魚と向き合う生産者としての視点を融合させたプレゼンテーションは、会場の空気を変えるほどの迫力でした。

結果として、今回は惜しくも決勝大会への切符を掴むことはできませんでした。審査員からも「非常にレベルが高く、議論が紛糾した」との声が上がるほどの激戦でした。しかし、ピッチを終えた高瀬さんの目には、悔しさの中にも確かな決意が宿っていました。「結果はどうあれ、この課題は解決しなければならない。蒲江で養殖を続けていくために」。

「アトツギ甲子園」への挑戦は、ゴールではなくスタートに過ぎません。既存の「掛け流し式」養殖^{※1}に対応したこのシステムが完成すれば、佐伯市だけでなく、日本の水産業界全体を支える技術となるはずで。

「派手さはないが、足元を固める保守の革新」。そう語っていた高瀬さん。地域と共に生き、命と向き合う若きアトツギの挑戦を、おおいたスタートアップセンターはこれからも全力で応援していきます。

※1 掛け流し式養殖とは、海水を汲み上げ陸上の水槽で魚を育成する方式



高瀬水産 外観



養殖場でエサやり



フグ



サクラマス



高瀬氏@アトツギ甲子園九州大会

事例 ①

カラダメンテ

(整体 大分市)

住所 大分市新栄町 2-2 松田ビル 101 電話 097-576-9629
 HP <https://www.karadamente.com/>
 Instagram https://www.instagram.com/karada_mente0906/
 (森 CO、宮崎 CO、新名 CO、阿南 CO、関谷 CO、工藤俊 CO 担当)

相談内容

- 理学療法士として病院に勤務しているが、独立開業を目指している。開業にあたって設備資金などの一部を金融機関からの融資と大分市の補助金で賄いたい。
- 創業計画書の作成の仕方と大分市創業者応援事業補助金の事業計画の内容について助言がほしい。

課題の整理・分析 (強みの発見)

- 理学療法士として十数年間の勤務経験があり、施術に関して知見と技術力を有している。
- 腰痛や施術などの啓蒙に向けて執筆活動や講演活動などを行っている。
- 健康寿命に関心を持っており、企業の労務管理とシナジーがあることから、企業向けのセミナーについての強みがある。
- 自己資金が少ない。

提案内容

- すぐに開業するのではなく、サラリーマンとして勤務しながら空き時間を利用して徐々に顧客を増やしていくことを提案した。



店舗の全景(外観)



経営者の横井 雄弥さん



店内の様子

- おおいたスタートアップセンター主催の創業準備プログラミングセミナーに参加し、特定創業者の資格を取るようすすめた。
- 資金調達に関しては将来のことを考えて実績作りのため、複数の金融機関からの資金調達をすすめた。
- 店舗での施術だけでなく、企業向けに働き方改革の一環としてセミナーを行ってはどうかと提案した。

成果 (相談者の声)

大分市創業者応援事業補助金の申請に関連して、創業の計画段階から相談に乗っていただき、無事に採択され2025年12月より店舗開業することができました。
 まだまだ、集客など課題がありますが収益を安定させ、大分県内の多くの方の健康増進に寄与できるよう精進して参りたいと思います。

事例 ②

株式会社別府交通センター

(飲食、土産品販売、バスターミナル 別府市)

住所 別府市新港町 6-46 (別府国際観光港)
 HP <https://www.bepu-minatoeki.com>
 Instagram @bepu_tc

(木許 CO、新名 CO、吉良 CO、富田 CCO 担当)

相談内容

コロナ禍の影響で観光客や団体客を中心に来店客数が減少し、その後は特に飲食部門のレストランにおいて客数が回復せず売上が低迷している。

売上高の回復に向けて、観光客だけでなく地域の人たちにも食事に来てもらいたい。

そのために、ランチメニューの検討や情報発信について助言してもらいたい。

課題の整理・分析 (強みの発見)

- 同じフロアに隣接している土産品を販売する売店には豊富な品揃えがあり、十分な集客が見込まれ、レストランへのお客の誘導や相乗効果が期待できる。
- 一方で、地元の人向けのランチメニュー開発において、ランチの内容とともに短時間で効率よく複数の食事を提供できる工夫が求められる。
- また、ランチメニューを開始するにあたって、どのように周知するかを検討するとともに、継続的な情報発信のための体制整備が求められる。



竹のレストランちくしの店内



提案内容

- ランチメニュー開発に当たっては、大分県内の食材を使い、効率よく調理できるメニューを提案。
- Instagram や Google ビジネスプロフィールを使った効果的な情報発信について具体的に説明しながら、その方法及び仕組みづくりについて支援。
- また、掲載するランチや店内の写真の撮り方についても事例を交えて助言。

成果 (相談者の声)

よろず支援拠点の皆さまには、何度も店舗に足を運び丁寧な助言をいただいたおかげで、日替わりランチを開始できました。手厚いご支援に心より感謝申し上げます。情報発信についても継続的に具体的なアドバイスをいただき、当社もチームを組んで積極的に取り組んでいます。さらに現在は、労務管理や組織体制の強化、お土産品売店を含めた経営全体の改善を目指して経営計画の策定も進めています。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

お問い合わせ、お申込みはこちらまで！

中小企業・小規模事業者のための無料経営相談所

大分県よろず支援拠点

TEL.097-537-2837
 FAX.097-534-4320

いろんなジャンルの専門家が！

営業時間 8:30 ~ 17:00 (月~金曜、土日、祝日)
 電話受付 月曜日~金曜日 (祝日等を除く)
 ホームページ <https://www.yorozu-oita.go.jp/>
 Facebook <https://www.facebook.com/oitayorozu/>

中小企業診断士	事業承継
税理士	知的財産
社会保険労務士	販路開拓
IT・WEB サービス	マーケティング
金融	税務
広告戦略	経営戦略
デザイナー	労務管理

予告1

令和8年度 一般研修のご案内

随時募集します! /

企業で活躍する人材の育成に寄与するため、機構（大分県人材育成センター）は、新入社員から管理職まで、部門や成長段階に応じて身に付けたいスキルを習得できる「一般研修」を通年開催しています。

令和8年度は、座学と実践を交えた全30コマを予定。「生成AIを活用した実践講座」や「サイバーセキュリティ対策」など、新たな研修も企画中です。スキルアップの機会として、是非ご活用ください。募集案内等は、ホームページ、メルマガ等で随時お知らせします。（概ね2カ月前から募集を開始）【お問い合わせ先】総務企画課（097-534-4702）



▲研修の詳細はこちら

開催予定日	時間	研修テーマ（主な内容）	定員（名）	受講料(円)/人 (機構一般会員) 【機構特別会員】 ※会員割引あり	活用分野など
4月2日(木)、3日(金)	9:30～16:30	新入社員研修① (募集中：3/19(木)まで) ①②は同一内容	30	22,500 (19,500) 【16,500】	新入社員向け ビジネススキル
4月9日(木)、10日(金)	9:30～16:30	新入社員研修② (募集中：3/19(木)まで) ①②は同一内容	30	22,500 (19,500) 【16,500】	新入社員向け ビジネススキル
4月24日(金)	9:30～16:30	給与計算、社会保険等の基礎 (募集中：4/10(金)まで)	20	10,200 (8,160) 【7,140】	会計実務・財務
5月14日(木)	9:30～16:30	会社経理の基礎 (簿記の基礎、決算書の読み方など)	20	10,200 (8,160) 【7,140】	会計実務・財務
5月19日(火)	9:30～16:30	ビジネスマナー (基本マナーとコミュニケーション、ビジネスメールの留意点)	20	10,200 (8,160) 【7,140】	全社員向け ビジネススキル
6月23日(火)	9:30～17:00	リーダーシップ、マネジメント (リーダーの役割と自己変革法、部下育成のポイント)	20	15,300 (12,240) 【10,710】	組織マネジメント
7月7日(火)	9:30～16:30	令和時代のコーチング・マネジメント ～「教える」から「引き出す」へ～ (人材育成に活用できるコーチング)	30	15,300 (12,240) 【10,710】	組織活性化
9月1日(火)	9:30～16:30	課題解決力、提案・変革力アップ (自ら課題を発見・提案・変革していく視点・考え方のポイント)	20	12,300 (10,300) 【9,300】	組織活性化
9月8日(火)	9:30～16:30	若手職員向けタイムマネジメント (タイムマネジメントのポイント、仕事の段取り力アップ)	20	10,200 (8,160) 【7,140】	生産性・付加価値向上
9月17日(木)	9:30～16:30	組織力・コミュニケーション力向上 (報連相のコツ、信頼関係のメカニズム理解)	20	10,200 (8,160) 【7,140】	組織活性化

※研修の内容や日程は、今後変更となる場合がございます。

予告2

情報誌「創造おおいた」が生まれ変わります!

いつも、「創造おおいた」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

本誌は、令和8年度から誌面を刷新し、月刊から年4回(5月、9月、1月、3月)の発行に変更させていただきます。

今後とも、皆様にご活用いただける地域産業の情報や特色のある取組事例等を掲載し、「機構の活動が見える」情報誌を目指してまいりますので、取材・投稿等へのご協力をお願いいたします。

●企業の紹介を拡充!

より多くの県内企業を紹介し、新たに「会員紹介ページ」を新設します。

事例紹介では、経営革新をはじめ、あらたな価値創造に挑戦する企業の取り組みをPRさせていただきます。

●全ページカラーで読みやすく!

視覚的な美しさはもちろん、写真や図解がより鮮明になり、見ごたえが格段にアップします。

●デジタルによる提供強化!

「情報誌」はバックナンバーとしてホームページに掲載するとともに、最新の補助金情報などはホームページ、メルマガ等で随時配信します。



▲創造おおいたはこちら

次号は令和8年5月号を予定しております。引き続き、「創造おおいた」をよろしく願いいたします。

大分県産品の販路拡大を目指す!!

食品関連の展示商談会出展報告

6年前から県内食品関連企業の販路拡大を目的に、展示商談会に向けての準備フォローから販路開拓・成約まで総合的に支援する一気通貫型支援事業を実施しています。今年度は「大分県産品のブランド力強化及び国内・海外市場への販路深化事業」に取り組みましたので、そのうちの「食品展示商談会出展」についてご報告します。

今年度の展示商談会名称・日程・出展企業数

名称	日程	場所	出展企業数	・来場者数 ・ブース内成果 ①名刺交換件数 ②継続商談件数
沖縄大交易会 2025	R7.8.1~12.19	オンライン	2社	219名 ①27件 ②4件
	R7.11.20・21	沖縄県 沖縄コンベンションセンター		
Food EXPO Kyushu 2025	R7.10.7・8	福岡県 福岡国際センター	7社	5,216名 ①359件 ②38件
通販食品展示商談会	R7.10.29・30	東京都 東京交通会館	2社	3,060名 ①85件 ②5件
スーパーマーケット・トレードショー 2026	R8.2.18~20	千葉県 幕張メッセ	13社	集計中

「食品展示商談会出展」における「大分県ブース」の役割について

今年度も当機構ではスーパーマーケット・トレードショーに大分県ブースとして出展し、出展企業の横連携を構築し、各社の新規商談先の開拓、商談成立を目指しました。昨年に引き続き、サッポロビール(株)九州日田工場様とコラボしながら、集客から商談まで一貫してサポートすることで、県内企業の販路拡大を支援しました。ビールとの相性のよい製品や試食、試飲に意味を持たせ、大分県ブースとしての一体感を出しながら、今後も出展各社の商品に対する訴求力を高めていきます。

その他の展示会では、基礎小間に出展してもらうことになるため、出展企業の出展物などを考慮して、県内企業同士でのコラボレーションが出来ないかなど、ただ出展するのではなく様々なシナジーが起きるような視点で支援させていただいています。

今年度の新たな取り組み「クローズの展示会」への出展

昨年度より伊藤忠食品(株)様から指導を頂き、バイヤーが求める「商品構成、パッケージや量目、販促提案や企画提案、ターゲット企業、現在の取引状況」などにポイントを置いた「商品提案書」の作成・支援をしました。今年度は「商品提案書」を作成した企業を対象とした「クローズの展示会」による販路拡大の機会を提供しました(今回は伊藤忠食品(株)の取引先が来場する2か所の展示会「FOOD WAVE OSAKA/NAGOYA」)。商品提案書の作成支援につきましては、随時対応していきますのでお気軽にお問い合わせ下さい。



展示会場内で営業に使用する「商品提案書」



47都道府県が集まる企画展示枠による出展

お問い合わせ先

(公財) 大分県産業創造機構 地域産業育成課 上野・園田

〒870-0037 大分市東春日町17-20 ソフトパークセンタービル
TEL:097-537-2424 FAX:097-534-4320

異業種の中で、 新しいビジネスの可能性を!



大分県技術・市場交流プラザ大分 令和8年度 新規会員募集のお知らせ

産・学・官が連携する県内異業種交流で
課題解決と新たな価値創出を目指します

大分県技術・市場交流プラザ大分は、
昭和57年(1982年)に設立された異業種交流団体です。
県内のさまざまな業種の事業者が集い、

- ✓ 事業課題の解決
- ✓ 新製品・新サービスの開発
- ✓ 販路開拓

を目的に県・大学・支援機関と連携して活動しています。

募集対象

県内に主たる事務所を置く事業者
(異業種交流に関心のある方)

会員数 **34社** (令和7年度)

主な活動内容

- ✓ 月1回の例会開催 (講演会・会員の意見発表・各種研修会等)
- ✓ 県内外の先進企業視察
- ✓ 見本市・展示会への共同出展
- ✓ 製品開発・研究テーマ別グループ活動
- ✓ 各種親睦事業

会費/申込締切

- 年会費：1企業 60,000円(予定)
- 申込締切：令和8年4月30日(木)

※申込多数の場合、または既存会員と業種が重複する場合は、
入会に際し事前協議を行う場合があります。

こんな方におすすめ!

- ✓ 異業種とつながりたい
- ✓ 新しいアイデア・ビジネスを生み出したい
- ✓ 自社だけでは難しい課題を相談したい
- ✓ 行政・大学と連携した取り組みに興味がある



主な例会開催場所

- ✓ (公財)大分県産業創造機構 研修室
(大分市東春日町17-20)
- ✓ 大分県産業科学技術センター
(大分市高江西1丁目4361-10) ほか

関係機関

大分県商工観光労働部(顧問) / 大分県産業科学技術センター
(顧問・技術アドバイザー) / 大分大学(助言者) / 日本文理大学
(助言者) / 大分工業高等専門学校(助言者) / (一社)大分県工
業連合会 / 大分県異業種団体協議会 / 大分県中小企業団体中
央会技術・市場交流プラザ日田 / 大分県技術・市場交流プラザ
佐伯 / (公財)大分県産業創造機構(事務局)

所属

(一社)大分県工業連合会 / 大分県異業種団体協議会(副会長、
理事2名) / 大分高専テクノフォーラム / おおいたAIテクノロ
ジーセンター

[事務局・お問い合わせ先]

公益財団法人 大分県産業創造機構 総務企画課(担当:森迫)
TEL:097-534-4702 / FAX:097-538-8407

ホームページ: <https://plazaoita.com>

※ご記入いただいた情報は、本事業の目的にのみ使用いたします。



問題です

ウェブマーケティング

クイズ



このネット広告の
NGポイントは
何でしょうか??

ヒント：伝えたいことが多い…

フレッシュ学習塾 個別指導

合格 200名

大分駅 徒歩 2分

★★★★★クチコミ4.9

無料体験受付中!!

小中高幅広く
対応します!

A講師◎◎大分
担当教科：英語

正解はこちら →

売れない広告デザイン
10個のポイント



株式会社 シャーロック

ウェブコンサルティング

<https://sherlocks.co.jp/>

大分市府内町三丁目4番20号

ご相談無料



050-3557-1204

あなたを笑顔に

make you smile

TOYOTA COROLLA OITA

経営者・人事総務の方必見 自分たちでつくる



まちなか社員食堂

GoSmart

初期導入費

¥0

従業員の
定着率
向上に

採用の
強みに

詳細はこちらから

GoSmart

検索

株式会社ネオマルス/担当:GoSmartサポートチーム



事業の経営改善・再生を サポートします!

ご相談はできるだけお早めに!

ご相談は無料!

秘密は厳守!

写真提供:大分市

【窓口相談】

中小企業の経営課題に幅広く対応

【収益力改善支援】

現状の課題・問題点を分析して収益力改善の計画策定を支援

【事業再生支援】

過剰債務を抱えて一時的に経営が悪化しているが、財務・事業の見直しにより再生可能な中小企業を支援

【再チャレンジ支援・保証債務整理への支援】

経営者の再スタートのための助言や専門家を紹介

経営者保証ガイドラインに基づく保証債務の整理支援

経営のお悩みをお聞かせください

あなたの会社の**経営改善**を**支援**します。

大分県中小企業活性化協議会とは

産業競争力強化法に基づき九州経済産業局から委託を受け、大分県商工会連合会が事業運営する公正中立な公的機関です

資金繰り

- ・資金繰りが不安
- ・資金繰表を作ったことがない
- ・税金・社会保険料等の滞納が発生してしまった

金融機関対応

- ・金融機関にどのように相談をしていいのかわからない
- ・金融機関から融資が受けにくくなった
- ・過剰債務で金融機関への返済が厳しくなってきた

経営相談

- ・経営環境の変化により、業績が悪化してしまった
- ・どんぶり勘定で管理に不安がある
- ・漠然と今後どうすればいいのかわからない

事業承継・廃業

- ・従業員のためにも事業を承継したい
- ・廃業の仕方がわからない
- ・事業承継や廃業にあたり、個人保証がどうなるか心配

大分県中小企業活性化協議会へお気軽にご相談ください。



大分市金池町3-1-64 【大分県中小企業会館6階】

TEL: 097-540-6415 FAX: 097-537-8577

←スマートフォンの方はこちらから <https://oita-kyogikai.go.jp>

ご相談無料
守秘義務厳守